

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 統計調査室	所属長名	飯島 和夫	電話	483-1151 内線4200
-----	-------	-----	-------------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4146	事務事業名称	委託統計調査事業				短縮コード	経常	4146	臨時	4147	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	委託統計調査費
区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		統計法及び各種関係法令							

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

国の統計法及び各種関係法に基づいて、国、県からの委託により基幹統計調査等を実施する。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測	総合計画の施策体系	6本の柱(章)	07	計画の推進のために
プライバシー意識の高まりや調査協力が得られない事業所等の増加により、調査環境は年々悪化している。そのため調査員の確保も難しくなっている。また、今後はインターネット等を利用した調査方法が取り入れられることが計画されており、調査員等の事務量は軽減と思われるが、職員の事務量は増加することが予測されるため、対応を図る必要がある。		大項目(節)	01	市民主体による自主的な行政経営
		中項目	01	第1章市民参画によるまちづくりの推進
		小項目(施策)	02	(2)市民参画体制の充実
		細項目	02	②市民ニーズの的確な把握と市政への反映
		実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~	計画事業費	千円
--------------	--------------------------	--------	---	-------	----

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	各種基幹統計調査等 千葉県年齢別・町丁字別人口調査、千葉県毎月常住人口調査、平成24年度教育統計(学校基本調査)調査、経済センサス調査区管理、工業統計調査、平成24年経済センサス-活動調査、平成24年就業構造基本調査、平成25年住宅・土地統計調査単位区設定、統計調査員確保対策事業
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成24年度に実際に行ったこと: 調査員等の募集(調査区設定)→調査員等の千葉県への推薦→調査員等説明会の開催→調査員による調査票の配布と記入依頼→調査員による取集→職員等による審査→千葉県へ提出  ※平成25年度に計画していること: 同上
意図 (何を狙っているのか)	各種基幹統計調査等を的確且つ迅速に実施する。
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外

区分	指標	内容	単位	23年度	24年度		25年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	各種統計調査数	件	5	8	8	9
	指標2	登録統計調査員数	人	320	320	203	203
	指標3						
活動指標	指標1	調査員・指導員数	人	69	75	71	134
	指標2	調査員等説明会実施回数	回	4	4	5	4
	指標3	登録調査員の統計調査従事状況	人	56	75	61	134
成果指標	指標1	調査員・指導員の確保率	%	100	100	100	100
	指標2	調査員等説明会の実施率	%	133	100	125	100
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4146	事務事業名称	委託統計調査事業		所属名	総合企画課 統計調査室	
	単位	23年度		24年度		25年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円	4,377	3,702	3,211	8,667
		地方債	千円				
		一般財源	千円				
	その他	千円					
主な事業費の内訳		報償費 3994千円		報償費 2676千円		報償費 2468千円	報償費 7852千円
人件費(B)		千円	29,997.2	30,075.6	29,333.7	29,867.5	
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,374.2	33,777.6	32,544.7	38,534.5	

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型	評価事項	評価区分	理由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 達成していない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性はない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	統計法及び各種関係法に基づき国や県から委託されて実施する事業であり、有効性や効率性の向上としては可能性はない。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		2		実施主体 (所管部署)		
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	4146	事務事業名称	委託統計調査事業			所属名	総合企画課 統計調査室																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			この事務事業は法定受託事務であり、今後、国による統計調査制度等の見直しが行われれば業務が改革・改善される可能性があるが、基本的には現状のまま継続されることが予想される。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	この事務事業は法定受託事務であり、今後、国による統計調査制度等の見直しが行われれば業務が改革・改善される可能性があるが、基本的には現状のまま継続されることが予想される。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
総括的な意見としては近年プライバシー意識の高まりにより、各種基幹統計調査に対して市民の協力が得られにくい状況にある。	

所属長コメント	この事務事業は、国及び県からの委託事務であり、市では円滑かつ公正な統計調査の実施に努めなければならない。統計調査の実施にあたり調査環境は個人情報保護意識の高まりによる協力意識の低下、オートロックマンションや単身世帯の増加に起因する面会困難世帯の増加等により困難な状況に置かれているが、広報・ポスター・ホームページ等で各調査の事前周知を図り、統計調査の円滑な実施を進めていく。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。